

令和7年度 相模原市民選手権大会 採点規則
体操競技 男子中学生（ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒）

1. 採点は、2025年版U-15男子適用規則を使用し、一部市民選規則を適用する。

2. 決定点

演技構成	Dスコア 6技+技のグループ+加点
実施	Eスコア 10.0満点より減点
ND	ライン減点、タイム減点、技数不足等
加点	着地加点及び組み合わせ加点は、一般規則に準ずる ※演技全体を通して「雄大さ」「美しさ」「優れた柔軟性」に対して 0.1を与える（市民選規則）

※上記の合計を決定点とする。

3. 難度点・技のグループ・特別要求

◇難度点（価値点）

A→0.1 B→0.2 C→0.3 D→0.4 E以上→0.5 の難度点を与えられる。

採点規則に記載されていない技であっても体操競技として合理的な技は、a(スモールエー)と0.1の難度点を認める。

ただし、技のグループの要素としては認めない。

※跳馬の価値点は、U-15規則に準じる。

◇技のグループ（市民選規則）

- ゆか
- I 跳躍技以外の技（難度の関係なく 0.5/スモール aでも可）
 - II 前方系の跳躍技（B難度以上で0.5/A難度で0.3）
 - III 後方系の跳躍技（B難度以上で0.5/A難度で0.3）
 - IV 1回ひねり以上を伴う1回宙返り（B難度以上で0.5/A難度で0.3）
※2回宙返りのNDは採用しない。

- あん馬
- I 片足振動・交差技（難度に関係なく 0.5）
 - II 旋回・旋回倒立・転向技（B難度以上で0.5/A難度で0.3）
 - III 旋回移動・転向移動技（B難度以上で0.5/A難度で0.3）
 - IV 終末技（難度点と同じ得点/スモール aは0.1を与える）
※交差技を左右で行って場合、2回目の技をスモール aとし、
難度点0.1を与え、技数を1技として認める。

- つり輪 I 振動・振動倒立技（難度の関係なく 0.5/スモール a でも可）
II 力技・静止技（B 難度以上で 0.5/A 難度で 0.3）
III 振動からの力静止技（B 難度以上で 0.5/A 難度で 0.3）
IV 終末技（難度点と同じ得点/スモール a は 0.1 を与える）

- 平行棒 I 腕支持振動技（難度の関係なく 0.5/スモール a でも可）
II 両棒での振動技（B 難度以上で 0.5/A 難度で 0.3）
III 長懸垂・逆懸垂振動技（B 難度以上で 0.5/A 難度で 0.3）
IV 終末技（難度点と同じ得点/スモール a は 0.1 を与える）

- 鉄棒 I 懸垂振動技（難度の関係なく 0.5/スモール a でも可）
II 手放し技・持ち替え技（難度の関係なく 0.5/スモール a でも可）
III バーに近い技・アドラー系の技（B 難度以上で 0.5/A 難度で 0.3）
IV 終末技（難度点と同じ得点/スモール a は 0.1 を与える）
※持ち替え技 ツイスト・移行・フットひねり・ホップターンなど

※1つの技で複数の要求を満たすことはできない。

4. 実施減点

市民選における減点は次の通りとする。

- 小欠点 0.1
中欠点 0.3
大欠点 0.5
転倒、落下 1.0

※ゆかのライン減点は、1回につき0.1減点。

※ゆかのタイム減点は、すべて0.1減点。

※短い演技

5技あれば減点はない。

1技不足につき1.0、決定点より減点する。

5. 機械器具の寸度

- ゆか…スポンジフロア（セノー製品）
あん馬…115cm（セノー製品）
つり輪…265cm（セノー製品）
跳馬…125cm（セノー製品）
平行棒…187cm（セノー製品）
鉄棒…275cm（セノー製品）

※着地マットは、会場にあるものを使用すること。